

そよかぜ 2月園便り

令和6年2月1日(木)

西東京市立そよかぜ保育園

今年は年明けすぐに大きな地震があり、被災地の皆さんのことを思うと心が痛みます。少しでも早い復興をお祈りすると共に、何かお役に立つことがあれば協力させてもらいたいと思っています。

保護者の皆さんにも**義援金**のご協力をいただき、ありがとうございました。皆さんのあたたかいお気持ちに感謝いたします。

法人として「御陣乗太鼓保存会」の方々に送らせていただくので、後日改めてご報告させていただきます。

先月(そよかぜ1月園便りにて)「読み聞かせ」「語り聞かせ」についての話を始めて、途中になってしまったので、今月続きをお話させていただきますね。

3歳を過ぎた子どもたちは、そのお話を遊びに取り入れて発展させていきます。この年頃の子どもは**劇あそび**にする(身体を動かす)ことで、なお一層そのお話の内容を深くつかんでいくのです。

4、5歳になると、一人の子どもが大人になるまでにどんな人に出会って、どういう生き方をしていくか、**手に汗握るドラマ**に惹かれます。「力太郎」「金太郎」「うりこひめ」「親指姫」など、洋の東西を問わず昔も今も子どもの興味を引く話は小さい子がさまざまな困難に出会って、次第に強く賢い大人になっていく話であり、「めでたしめでたし」「幸せになった」という話です。

これが6歳になると、「スーホの白い馬」「八郎」のように悲劇に終わっても、その中に隠されている深い人間社会の悲しみ、悪行を働く王や巨大な自然の暴力に対して、人間がいかにか闘ってきたのか、長い人間の歴史…などというものを**一編のドラマ**として迎え入れ、そして自分のこれからの生き方の中に取り込んでいくのです。

その柔らかい脳に刻みつけられる物語が、子どもたちが大きくなってからの歩みにいかに影響するか、計り知れないものがあると思います。だからこそ、年長クラス(6歳になった子どもたち)への語り聞かせは、こちらが神経を集中させて、静かに聞くことができるように環境を整え、精魂込めて話をするようにしています。

年長さんはもうすぐ卒園を迎えますが、保育園で経験したことは全て子どもたちがこれから生きてく上での「力」となってくれることを願って、私たちは日々保育をしています。

残り少ない保育園生活の中で更に経験を積んで、胸を張って小学校に行ってほしいと思っています。

～ 職員の体制についてのお知らせ ～

配布したものをご覧ください



<https://soyokaze-hoikuen.net/>

コドモンの導入について

12月の園だよりでお伝えした「コドモン」の導入が始まります。
保護者の方にも便利で、円滑なコミュニケーションが行えるよう準備を進めて参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※2月15日頃から試験運用をはじめ、3月から本格導入を目指したいと考えています。
詳細につきましては、改めてご案内致します。

▼ 導入にあたってお願いすること

- (1) コドモンの「保護者アプリ」のスマホへのインストール
- (2) 保護者アプリの登録（アプリを使えるようにする）

▼ 当面使用する機能は、以下の通りです。

- (1) 登降園時のタイムカード打刻（QRコード使用）
- (2) 保育園からのメール連絡

なお、今後導入予定の機能として「保護者の方から保育園への欠席等の連絡機能」もございます。
準備が整い次第、改めてご案内致します。

不明な点等ありましたら、そよかぜ保育園事務 佐藤まで遠慮なくお問い合わせください。
以上よろしくお願いいたします。

2月の行事

日	月	火	水	木	金	土
				1 豆炒り	2 節分の会	3
4	5	6 2オクラス懇談会 17:00~18:00	7	8 1オクラス懇談会 17:00~18:00	9	10
11 建国記念日	12 振替休日	13	14 0オクラス懇談会 17:00~18:00	15 布団乾燥	16 5才 四園交流	17
18	19 5才みどり交流	20 餅つき会	21	22 栗本さん体育遊び	23 天皇誕生日	24
25	26	27 誕生会 避難訓練	28	29 あられ炒り		

リズム遊び

「おはよう きょうリズム する？」 「やるよ！」 「やった！」

♪ ラン ラン ラン ♪ ロピアノに合わせて 始まるリズム遊び
公園でも 園庭でも 気づくと跳んだり跳ねたり 自然に体を動かしています。

首が座り 寝返りが出来るようになると、うつぶせ姿勢でお腹をつけた這い這いが始まり、
やがてお尻を上げて四つ這い 高這い つかまり立ち 伝い歩き。
しっかりとした足取り歩き始めた時の誇らしげな顔 子どもの成長を感じる嬉しい笑顔ですね。

リズム遊びは 人（子ども）の成長発達に沿った動きを 楽しく、まねっこしながら、出来る（発達）事
が増え、より巧みになっていく取組みです。

金魚運動 どんぐり（寝返り運動） ワニさん這い這い ウマ（四つ這い・高這い）
うさぎ跳び（両足を揃えて跳ぶ） メダカ（両手を前に出し走る） 汽車（両腕を回しながら走り、ポポー
の合図でうつ伏せになる） トンボ（両手を羽のように広げて走り、片足立ちで止まる）・・・等の動き
が、大脳を巧みに刺激し、触覚 視覚 等の感覚神経と、手や足を動かし、運動神経を発達させていく動き
です。

体幹が育っていないとしっかり歩くことになりません。瞬時に片足に重心を移しながら、一步一步 進ん
でいくのですが、赤ちゃんが歩き始めた時、一生懸命足を動かし、よちよち。足裏が大地を踏みしめ、身体
を支えて進んでいく。やがて背中を伸ばし、床に足をつけて座る。

これらの姿勢は簡単そうに見えますが、各々の機能が育っていないとできません。転びやすかったり、
自分の中のもどかしさが、苛立ちを感じてしまいます。座位を保つことが出来ると集中力も高まります。
夢中になって物事に取り組める大事な力です。

毎日 リズム遊びをするわけ

体力をつけ、手先が器用になり、集中力がつき、学習意欲もつく。

繰り返し 楽しく 遊び 知恵と力 友達と喜び合える仲間と育ちあう場

として、 保障してあげたいと願っています。

職員をつぶやき

4月に入職して3歳児クラスに担任になり、10か月が経ちました。

この10ヵ月、子ども達と色々な公園に行ったり、初めての行事に参加したり、季節ならではのあそびを
楽しんだり、毎日がワクワクする経験で溢れていました。担任という立場でありながら、子どもたち
と同じ目線・同じ気持ちだった瞬間が本当に沢山あった思い、2年目になる来年からもこの気持ちを忘
れないようにしたいと感じています。担任として、今のクラスの子供達と過ごせるのもあと2か月。
子ども達が保育園での生活を楽しめるよう努めると同時に、私自身も子どもたちと共に楽しみ共に成長
を喜び、一日一日を大切に過ごしたいと思います。

羽村しらうめ保育園 山本 遥香